

卒業生の就職先に関するカリキュラムの意見聴取

卒業生が在籍する企業に対して、業務に取り組むための、スキルの有無。スキルとしてあると望ましいもの等の本学カリキュラムについてについて意見を求めた。

調査期間:令和4年4月から9月まで

調査対象企業:71社を対象にし、うち卒業生が在籍する企業のうち13社より回答を得た

企業名	聞き取り内容
A社	インターンシップ科目を評価。会社で学ぶことが役に立つ。
B社	建築学科の専門性を評価。下記インターンシップで積極的に学生を受け入れたい。
C社	21年卒業生は施工管理から設計職へ。学科の学びのベースがあるので異動可能だった。
D社	素直で積極的な学生が多い、と本学の学生を評価。
E社	入社10年目の卒業生は基本的な事柄をしっかりと教育している印象がある。
F社	インターン参加を元に22年卒業生2名が就職。建築学科の学生は意欲が高く熱心に課題に取り組むと評価。
G社	22年卒業生が在籍。インターンシップ受け入れを通じて建築学科の学生を評価。
H社	建築学科の学生を高く評価しインターンシップを積極的に受け入れ。
I社	建築学科のカリキュラムは瓦など建築材料に関すること、伝統建築に関することに興味を持てる内容であり、評価できる。
J社	建築学科の学生に高校生にはない専門性を期待している。
K社	施工管理職として即戦力に近い学生がいるということで、建築学科のカリキュラムを評価。
L社	静岡出身者で施工管理職の人材を養成している大学として評価。
M社	22年卒業生が同期のムードメーカーとして活躍、建築学科のカリキュラムとしては不足が無い、と高く評価。

以上